

ふりがな こてら りょう		
氏名 小寺 諒		
学 歴 及 び 学 位		
平成31年3月	情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科メディア表現専攻修士課程 修了(修士(メディア表現)取得)	
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等		
令和3年4月	日本映像学会 正会員(現在に至る)	
現 在 の 職 務 の 状 況		
職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
助手	情報デザイン領域	実習授業の補助、機材の保守管理、学生対応

教 育 研 究 業 績

研究分野	研究内容のキーワード
人文・社会/芸術実践論/メディア・アート	ミクストメディア、インスタレーション、写真、映像

事 項	年 月 日	概 要
(教育方法の実践例) コロナ禍における講演会のライブ配信	令和2年9月	愛知淑徳大学創造表現学部助手として、同学部が主催する講演会のライブ配信を行った。コロナ禍のため実際に来場出来ない人が多く、Youtube上で配信された映像は、多くの学生や関係者に視聴して頂くことが出来た。 共同実施:村上泰介、愛知淑徳大学 建築・インテリアデザイン専攻
(教育上の実務経験を有する者についての特記事項) 愛知淑徳大学創造表現学部メディアプロデュース専攻 非常勤講師	令和6年4月～現在	担当科目「写真技術」「ウェブデザインI」
(その他) VRアプリケーション開発環境の整備	令和4年8月	愛知淑徳大学創造表現学部助手として、実習科目「プログラミングII」の立ち上げ準備を担当した。VR HMD(OculusQuest2)および開発環境(Oculus Intergration、Unity)のセットアップと管理を行い、授業の進行に寄与した。
専攻の広報映像の制作	令和4年9月	愛知淑徳大学創造表現学部助手として、卒業生による特別講義の様態を撮影し、10分間のダイジェスト映像を制作した。映像はオープンキャンパスにて、専攻の特色をアピールする広報物として上映された。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) (学位論文)擬似的な身体空間の構築を通した<人間-機械>の再考 -作品「或る脈動の部屋」を通して(修士論文)	単	平成31年3月	情報科学芸術大学院大学 メディア表現研究科メディア表現専攻	概要は、インスタレーション作品の制作を通して、現代における身体と機械の関係を考察したものである。IoT機器などが相互に繋がり合い動作する状況を、現代に特有の身体イメージと捉え、そのような様子を想起させる作品を制作した。結論として、作品が観客の持つ身体イメージを広げ、人間機械論を現代にアップデートするという意義を持つことを明らかにした。 約28,000字、30ページ
(学会発表) 研究発表「2020年代初頭の記憶について再考する作品展示」	単	令和4年10月	日本映像学会中部支部2022年度第1回研究会(名古屋文理大学)	令和3～4年に実施した作品展示の概要と、今後の展望について口頭発表を行った。
(作品) Pulsating Room	グループ展	平成31年2月	IAMAS2019 ソフトピアジャパン センタービル・ソピアホール(岐阜県)	メディアインスタレーション作品(3×3m)を展示した。マイコンによる照明やモーターの制御ほか。
Unforgettable Times	個展	令和3年3月	エスプラナード ギャラリー(名古屋市)	メディアインスタレーション作品(3.0×5.0m)を展示した。マイコンによる照明の制御と写真の組み合わせ。
Unforgettable Times -Early 2020's	個展	令和4年2月	ANTIQUÉ Belle Gallery(京都市)	メディアインスタレーション作品(3.5×5.8m)を展示した。マイコンによる照明の制御と写真の組み合わせ。
Pulsating Room II	個展	令和5年9月	Gallery Finger Forum(名古屋市)	メディアインスタレーション作品(5.4×7.0m)を展示した。マイコンによる照明やモーターの制御ほか。